

## 上下水道

\*\*\*\*\*

提案・意見

土産品

下水道マンホールのふた図柄をコースターとして販売してはどうか？  
他の観光地において売っていたので…  
宇治浦田交差点をスクランブル交差点にしては？

### 回答

平素は当市の上下水道行政にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。上下水道事業に係る普及啓発活動については、イベント時にボトルウォーター『伊勢の水』の無償配布や承認した市内の民間事業者または市の一部窓口にて販売を行っています。また、本年度より「伊勢まつり」「環境フェア」において、マンホールの図柄入りストラップを子供を対象に作成体験をしていただき、たいへん好評をいただいたところです。今回、貴重なご提案をいただきましたが、県内他市町の普及啓発活動も参考にしながら、今後とも上下水道事業のPR活動に努めてまいりたいと思っておりますので、ご理解、ご協力の程よろしく申し上げます。  
(上下水道総務課)

横断歩道のスクランブル化は三重県公安委員会（伊勢警察署）の所管となりますので、今回いただきました貴重なご意見については、伊勢警察署へ連絡させていただきます。なお警察においては、管内の交通情勢を総合的に判断して横断歩道の設置、スクランブル化等を含め、良好な交通環境の整備に努めていると伺っておりますが、設置等に関しては、公安委員会（伊勢警察署）の所管となりますので、市としては、今回のご提案を受け、横断歩道のスクランブル化が可能かどうかは判断いたしかねますのでその点、ご理解いただくようお願い申し上げます。  
(交通政策課)

担当課

上下水道総務課、交通政策課（2017年12月回答）〔12/2～12/8〕

## まちづくり

\*\*\*\*\*

提案・意見

伊勢市駅周辺線路の高架化について

私は伊勢市在住の中学3年生です。文章がまとまらないかも知れませんがよろしくお願ひします。ある日、私は県道37号線の新道商店街付近で自転車に乗っていました。そしたら、踏切が鳴っているのが聞こえ、交差点を見てみると、凄まじい渋滞が発生していました。それも交差点にまではみ出すくらいのです。踏切が原因での渋滞は何度も目にしてきましたが、まさかここまでとは、と思いました。やはり早い話、伊勢市駅周辺線路の高架化は必須だと思います。ですが色々なサイトを見てみると（ここのホームページもそうです）、高架化は市だけでなく鉄道会社（JRさんや近鉄さんのこと）等、複数の合意のもとで行われること、現段階では難しいということが分かりました。そして私が知りたいことは、高架化の交渉、議論は現在どのようなところまで進んでいるのかです。踏切によって南北が寸断されてしまい、特に伊勢市駅周辺なんかでは、南北で発展に大きな差が出てしまったかのように感じます。更に伊勢市は日本有数の観光地である伊勢神宮がある観光都市でもあります。伊勢市等がご参拝に公共交通機関の利用を薦めているのはチラシで知っていますが、それでも車で観光に来る人は必ずいると思います。そして渋滞に引っ掛かるとなると観光客の人のストレスになってしまふかもしれないので、どちみち絶対高架化はすべきだと思います。長文で申し訳ございません。ご返信の方をよろしくお願ひします。

回答

平素は、市行政にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。ご質問のありました、伊勢市駅周辺線路の高架化につきましては、市の長年の懸案事項であります。平成14年3月には、鉄道事業者や行政などで構成した伊勢市駅周辺整備構想策定委員会にて伊勢市駅周辺整備構想（案）が作成され、伊勢市駅周辺のまちづくりには鉄道による南北交通分断への対応が重要とされています。しかし、構想の実現に向けては、莫大な事業費と時間を要することなどから、計画策定には至っていない状況です。このことから、南北交通分断問題の解消に向けた実施可能な対策として、踏切道改良促進法に定められている速効対策により、市街地の交通の円滑化を図りたいと考えており、現在、調査及び基本方針を検討しています。今後は、この基本方針を基に円滑化対策を鉄道事業者等と協議・調整を図りながら取組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解ご協力賜りますようお願いいたします。

担当課

都市計画課（2017年12月回答） [12/2～12/8]

## 教育

\*\*\*\*\*

提案・意見

伊勢宮川中学校について

合併により誕生した伊勢宮川中学校ですが、場所は宮川中学校跡ですし、名前も伊勢が付いただけで宮川中学校と変わらず、教師も生徒も宮川中学校の方が多く、沼木中学校の生徒が肩身の狭い思いをしていると聞きます。宮川中学校に余所者を入れてやったという感じですね。特に2、3年生担当の教師は宮川中学校の生徒を臆する事が多く、沼木中学校の生徒は非常に辛い学校生活を送っていると言われていています。沼木地区のイベントなどで保護者が集まると伊勢宮川中学校の酷さについて話す機会も多く、中には小学校卒業と同時に引っ越して他の中学校に通わせるという親御さんもいますし、子供達もとても不安に思っています。元宮川中学校の教師は全て入れ替えるなど、何か対策は考えてもらえませんか？小さい学校から大きな学校へ通う事になる子供達への配慮は何もないのでしょうか？人数が少ない学校からきた生徒の立場が弱くなるのは分かりきったと思うのですが。こんな酷い状況なら、まだ沼木中学校は建屋も残ってますし、合併をやめてはどうでしょうか？今後、北浜や二見などでも合併がありますが、同じような状況にならない事を願っています。

それと、宮川の堤防道路ですが、津村町まで延伸する事はできませんか？現在は大倉町までで道が途切れてますが、これを津村町まで延ばしてもらえたら、辻久留から沼木までの車が通らない安全な道になると思います。普段の子供達はバス通学ですが、土日などに自転車で宮中学区まで行く事が出来て、子供同士が交流を深める事が出来ると思います。

## 回答

伊勢宮川中学校についてご意見をいただき、大変ありがとうございます。小中学校の統合に関しましては、平成23年に「伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画（案）」を策定し、事業を遂行してまいりました（平成29年3月修正版策定）。そして、本年4月に伊勢宮川中学校と二見浦小学校が開校しました。統合に際しては、「対象校となる学校の規模（学級数や児童生徒数等）及び創立時からの経過年数にかかわらず対等な関係の統合とする」を基本的な考え方として進めてまいりました。それを踏まえ、両校の教職員やPTA代表、自治会代表等による統合準備会を立ち上げ様々な協議を行ってきました。校名についても、統合準備会の中で、慎重に議論を進め選定を行ってまいりました。「両校区には市民に親しまれている宮川が流れており、学校の所在する地域をイメージしやすく、また、「伊勢」とつけることにより、「伊勢市」の学校であることをアピールすることもできる」という意味であり、対等な統合により生まれた新しい学校として位置づけております。子どもたちの交流に関しても、統合の数年前から事前交流を行ってまいりました。併せて教職員間の交流や情報共有も重ねてまいった次第でございます。新しい学校をみんなで創り上げていくその過程においては、ご意見のとおり様々な不安や課題があることと思います。それらを学校、家庭、地域がそれぞれの立場から話し合い、意思疎通を図りながら、より良い方向を模索していくことが大切かと考えます。いただきましたご意見につきましては、学校にも伝え、教育委員会としましても統合後の子どもたちの学校生活がよりよいものとなるよう支援をしてまいりたいと考えております。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。（学校統合推進室、学校教育課）

ご提案いただいた宮川の堤防道路を津村町まで延伸する事につきましては、この区間が、河川防災上非常に危険な無堤防区間でありますため、市では、河川管理者である国土交通省及び三重県へ堤防を建設していただくよう毎年要望をしております。今回のご提案につきましては、国土交通省及び三重県に申し伝えますとともに、市としまして、引き続き堤防の建設を要望してまいります。今後とも市政運営に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

（監理課）

## 担当課

学校統合推進室、学校教育課、監理課（2017年12月回答）〔12/2～12/8〕